

小4・「やりやすい学年」と言われていた子たちのいじめ

→（2月）子どもたちが夢中になれる活動と生き生きしたクラスへ

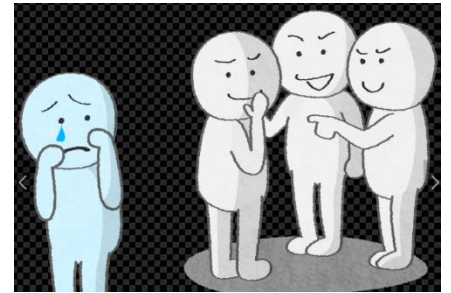
朝輝千明

※前半…前回の報告のまま。 後半…3学期の取り組み

①学校の様子

- ・1学年50人（1クラス25人）
- ・印象 子ども…子どもらしい、素朴、やさしい、穏やか
保護者…クレーム少ない、教師は楽

→でも実は 家庭環境が複雑な所も多い、
保護者は悪い人はいないが教育的な関心が薄いからクレームが少ない？



②私のクラスの子どもたち

- ・小4 穏やか、前に出るのが苦手な子が多い。はじめの1週間くらいの“しーん”とした雰囲気
小3から持ち上がりでちょっとずつ“高学年らしくなってきた（子ども同士の世界、グループ）”
- ・気になっていた点

トラブルが今まで少ない（優しいもあるが、関りが少ない？休み時間1人で本を読む子が多い）
学校ではアナログ生活でも、家ではスマホ・ゲーム・タブレット漬け（どんなLINEグループ、手紙回し、遊ぶのはそれぞれの家でゲーム通信、小4になるタイミングで半分以上の子が持っているスマホ、依存…）
日頃は穏やかなのに、時々「こんなことで？」という時にテンションが異常に上がる：雷で大盛り上がり
コロナ禍のしんどさが見えない（今までと同じように過ごし、同じような生活に見える）。
想像力が乏しい？

③4月からのクラス

- ・去年と同じ…「子ども中心でつくるクラス」。遊び、誕生日会、お楽しみ会など楽しいこと中心に
- ・私自身 手を抜く（学校から心が離れている、子どもにつくす・残業の線引き）
- ・楽しいことをしつつ、子どもも大人も無理しすぎない（日常を大切に）。でも、燃えられない。価値を見出せない事に時間を費やしてしまう学校・先生がいて、引いてしまう自分。
- ・子どもたちの高学年っぽい距離感(心がかたい)と、リラックスした時の子どもらしさ

④11月いきなり いじめ発覚

- ・本人からの訴え Aちゃん「3人から悪口を言われているの…」
- ・次の日、朝3人を呼ぶと→4人「もっといるで」→13人（クラスの半分以上）。驚愕。。このまま授業は

無理。

すぐに管理職、生指、養教に相談。本人は別に聞き取りで、クラス指導。その後クラス指導。

その日の放課後に保護者に報告

- 内容…避ける、消毒、悪口、配らない、置かない
- 本人と保護者の願い「他の子も含め、同じようなことが起こらないようにしてほしい」
- 本人「あまり大きくしないでほしい。思い出して泣いちゃうから」

⑤その後の対応と気になる点

- 1週間でクラス全員に複数回ずつ聞き取り。学校全体に周知。保護者に定期的に報告、相談。
- 個人懇談で、それぞれの親にも伝える。表面的にはいじめはなくなったが。。本質は？
- きっかけ…クラスの中心 Bくんが Aちゃんに違和感。なかよし4人グループで悪口→1カ月で一気に広がる

<気になる子>

*Bくん…語彙力が少ない。優しい面もあるが、子ども同士だと自分勝手・激しい面もあり。「わからない」
隠す？自覚なし？

*Cくん…中心でいっしょにいじめていたが、意識が薄すぎる。「覚えていない。あーそうだった」

*Dちゃん…「横にただけで、何をしているかよくわからなかった」

*Eちゃん…誰もが認める優等生。私に何度もうそをつき、認めるのに一番時間がかかった

クラス25人中知らなかったのは5人（本人、支援の子、他3人：FGH）

*Fくん…気になる子。自分の世界観が強い。

*Gくん…小3～の転入生。のんびりマイペース。

*Hくん…小4 8月～の転入生。元気よすぎのマイペース。

⑥クラスづくりで何をしたらよい

本音が出せる関係？充実感と発散できる活動？

表面的な授業は結構やってきた（LGBTQ、性教育、平和、国語…文芸研、日記を読み合う、自治活動）

どんな子たちでも、いじめは起こりえるが。。やっぱりない方がよい

今後は？本音が出せる関係？充実感

相談できる先生・関係であること「今回一番良かったことは、本人が早い段階で先生に相談できたこと」

一番の反省：私が全然子どものことを見ていなかった

⑦難しいなと思った点

- Aちゃん本人が気づいていない（自分のこと…鼻・髪・鼻歌・得意不得意、周りの様子）
- いじめの対応“チームで動く”。相談したつもりだったけど、先走った？

→ここから後半

この前、アドバイスを色々もらい、私ももう一度考え直し、かかわり方や取り組み方を変えてみました。

①子どもたちが感情を思い切り出せ、仲間で夢中になれる取り組み

→かっとばし野球、百人一首

②子どもたちが『やりたいこと』とクラスでやって、いきいき過ごす

→学校全体かくれんぼ、お化け屋敷など

③良いところを【言う】

という取り組みをされていて、クラスの雰囲気も変わってきました。

① 子どもたちが感情を思い切り出せ、仲間で夢中になれる取り組み

<かっとばし野球>

体育の力はすごいと思われました。3学期に入り、チーム決めから子どもたちと一緒にやっていき、クラスのどの子も夢中になる姿がありました。今までのよそよそしい雰囲気や、なかなかクラスが1つに活発になるのがむずかしかったのですが、このかっとばし野球がきっかけに生き生きと過ごせるようになった子も多いように感じます。

子どもの様子

・小1～今まであまり学年で見られなかった喜怒哀楽が大きく表出されるようになった。

(チームで大喜び、大号泣、くやしがる など)

・勝ち負けにこだわる(勝ちたい気持ちが強い)

→夢中になる(今まで一生懸命走る姿がなかなか見られない子が、バッターの時に夢中で走る)

・仲間意識(なかよしではなく、チームで話し合う・応援する・喜ぶ・悲しむ・励ます)

・自分の意見をはっきり持って、違う意見でも言葉にして言える

・とても上手なのに、「自分は下手」という Bくん…(低学年の時だけ入っていた、野球チームの影響?)

象徴的なエピソード

*全勝のXチーム…はじめて負けた時

*全敗のYチーム…「このチームで勝ちたいんだよ」→クラス全員で特訓→初勝利

X対Yの試合。ルールがあいまいで、最弱のYチームがXチームに逆転の可能性。

3回話し合い、自分の気持ち・相手の気持ちを話し合う。(引き分けにしたい、勝ち負けをはっきりさせたい、Yが勝ちでよいと思う など) みんなが同じ意見にはならなかったが、みんなが「納得できる」ようにしよう。(Bくんにも意見が言える子が数人。2学期からの変容??)

→最終的に「どの意見にするかじゃんけん」(納得)

→次はルールを再確認してやろう

- ② 子どものたちが『やりたいこと』とクラスでやって、いきいき過ごす
→学校全体かくれんぼ、お化け屋敷など

やりたいことを募集して、案を出し合い、投票で決めた。案の段階で自分たちで「話し合いたい」「これはやってもよいの？」と聞いてくる。

決まったあとも自分たちで集まる。仲良しグループだけでなく、Aちゃん・Dちゃんも一緒に休み時間に自分たちで集まって準備をしている。

<なぜ？>

2学期までも小さい取り組みだが、「子ども中心でたのしいクラス行事」に取り組んできたから？

③良いところを【言う】

「認める」が「褒める」かを迷いましたが、どちらもえらそうな印象が抜けなかったので、子どもたちの良いところを感じたら、その気持ちを「言う」ことにしました。できればクラス全体の場でいうようにしています。

- ・よく気が付くEちゃん
- ・B君が落ち込んでいて、心配するAちゃん
- ・一年生を保健室に連れて行ってくれたBくんたち
- ・欠席の子のために譲ってくれるLくん
- ・日記が面白くて、みんなで笑いあったMちゃん など

<今感じること>

やっぱり前回報告し、アドバイスをもらってきちんと見つめなおし、「取り組もう」としたことは大きい。きっかけは1つではないかもしれないが、子どものやる気を引きだし、誠意をもって大人が接して関わることの大切を感じます。

ただ自尊感情が低い子はやはり多いので、少しでも持てるようなかわりを持っていきたい。

<今後やりたい学習>

- ・子どもの権利条約
- ・スマホと健康
- ・持ち味ワーク（障がい者理解、多様性、自分を振り返る）